

業務評価

当病院では 95% 以上の院外処方箋発行により、入院患者さん中心の業務を行っていますが、病棟業務が手薄になっており、今後の最重要課題となっています。また、安全対策をすべての部門に施し、医療安全と業務の効率化に努めています。業務内容はどの施設でも大差はありません。当病院における業務が他施設に比してどの程度なのかをスケールを使って評価しました。

部門	業務	備考
調剤業務	<p>[Whalley L. et al. Nursing Care of Infants and Children, 3rd ed. ST. Louis Mosby, 1987]</p> <p>体制が十分 標準 体制が不十分</p>	電子カルテ オーダリング 監査支援システム等
注射業務	<p>[Whalley L. et al. Nursing Care of Infants and Children, 3rd ed. ST. Louis Mosby, 1987]</p> <p>体制が十分 標準 体制が不十分</p>	一患者一施工毎 バーコードリーダー
抗がん剤 無菌調製業務	<p>[Whalley L. et al. Nursing Care of Infants and Children, 3rd ed. ST. Louis Mosby, 1987]</p> <p>体制が十分 標準 体制が不十分</p>	安全キャビネット等 閉鎖式システム レジメン管理 等
製剤業務	<p>[Whalley L. et al. Nursing Care of Infants and Children, 3rd ed. ST. Louis Mosby, 1987]</p> <p>体制が十分 標準 体制が不十分</p>	クリーンベンチ 簡易高圧蒸気滅菌設置
医薬品管理業務	<p>[Whalley L. et al. Nursing Care of Infants and Children, 3rd ed. ST. Louis Mosby, 1987]</p> <p>体制が十分 標準 体制が不十分</p>	バーコード管理
医薬品情報管理業務	<p>[Whalley L. et al. Nursing Care of Infants and Children, 3rd ed. ST. Louis Mosby, 1987]</p> <p>体制が十分 標準 体制が不十分</p>	インターネット環境ができてきた
持参薬鑑別業務	<p>[Whalley L. et al. Nursing Care of Infants and Children, 3rd ed. ST. Louis Mosby, 1987]</p> <p>体制が十分 標準 体制が不十分</p>	電子カルテ連動
薬剤管理指導業務	<p>[Whalley L. et al. Nursing Care of Infants and Children, 3rd ed. ST. Louis Mosby, 1987]</p> <p>体制が十分 標準 体制が不十分</p>	担当型のため、依頼時の実施にとどまる
TDM 業務（血中濃度測定）	<p>[Whalley L. et al. Nursing Care of Infants and Children, 3rd ed. ST. Louis Mosby, 1987]</p> <p>体制が十分 標準 体制が不十分</p>	依頼による解析
チーム医療参画	<p>[Whalley L. et al. Nursing Care of Infants and Children, 3rd ed. ST. Louis Mosby, 1987]</p> <p>体制が十分 標準 体制が不十分</p>	ICT、NST、緩和、褥瘡、DMAT 等々
医薬品相談・指導	<p>[Whalley L. et al. Nursing Care of Infants and Children, 3rd ed. ST. Louis Mosby, 1987]</p> <p>体制が十分 標準 体制が不十分</p>	個室相談室設置
その他	<p>[Whalley L. et al. Nursing Care of Infants and Children, 3rd ed. ST. Louis Mosby, 1987]</p> <p>体制が十分 標準 体制が不十分</p>	業務実績のデータ収集、解析等々

* 標準：他施設と同等を基準とした

決して「これ」というものはありませんが、他施設に比して一部を除き標準的な業務が行われています。現在少し出遅れている業務に焦点を合わせ、体制作りを検討しています。

各部門からの評価

医師から

少ない人数の中、頑張ってくれてありがたいと日々思っています。これからも薬剤師を増やすための良い条件が出せるよう協力を惜しまないつもりでいます。薬剤師の力を十分に発揮し病院に貢献できるような環境を作るためにも、薬剤師の増員が必要なことを理解していますので、是非とも今以上の環境が整備できるよう期待しています。

看護師から

私たち看護師は薬剤師さんにもっとカンファレンスや回診に参加してほしいと思っています。また、薬の専門家として、最新の医薬品情報や副作用のチェックポイントなど、色々なことを相談したり教えてほしいことがあります。薬剤師さんが病棟に積極的に関わってもらえると患者さんのメリットだけではなく、病棟全体の医療安全にもつながります。もっともっと病棟に来てください！！（看護師が薬剤師に望むこと）

リハビリ室から

急性期治療を中心とする病院の役割への対応とともに、高齢化が進む地域特性に合わせた服薬サポートにも関わられるように部署一丸となって取り組んでくれています。リハビリ実施における患者の気になる状態や動作に対して薬の影響に関する相談にのってくれるなど、いつ伺っても活気のある室内の様子はとても頼もしく思っています。

事務部から

院内の組織や活動でリーダーシップを発揮してほしい部署ですが、今の人数だと厳しい状況だと感じています。ですが、雰囲気や人柄がよく、相談しやすいと思います。人数が少ないですが、一人当たりの薬剤指導件数は多く、診療報酬上ありがたいと思います。薬剤室は密室であり忙しさが他に伝わりにくいようです。その中、薬剤で間違いが許されない部署ですが、完璧に業務をこなしています。そのためか、完璧主義で融通が利かない印象もあります。役職者の活躍が目立ち、その他がおとなしく感じます。

薬剤室 OB から

仕事終わりに職員専用温泉に浸かって帰宅していました。楽しかったです。また、人員不足解消が当面の目標で中々叶わず大変でしたが、当病院薬剤師は良く動いてくれました。フットワークは良かったですね。ただ、仕事での目標が立てづらく日々業務に追われていました。けれど、増員による業務拡大構想は常に持っており、今でも引き継がれていると思います。

医薬品卸業者さんから

薬剤助手さんが薬剤師の指示に従い、てきぱきと動いています。また、皆さんが業者に対して丁寧に声をかけてくださいます。エアシューターや音声付監査システムなどが特徴的だと思います。しかし、皆さん忙しい印象があり、声をかけにくい時がしばしばあります。